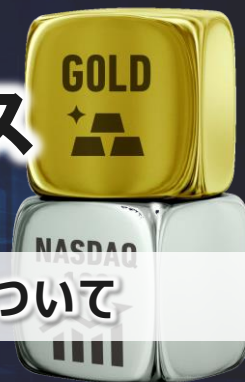


Tracers NASDAQ100ゴールドプラス



運用におけるポイントや期待される投資効果などについて

- ネット専用ノーロード・ファンドシリーズ「Tracers(トレーサーズ)」のファンドとして、2025年1月24日に設定予定(当初申込期間:2025年1月10日~1月23日)の当ファンドは、米国株式と金を主要投資対象とし、先物取引を積極的に活用することで、純資産総額の200%相当額(米国株式100%+金100%)の投資を行ないます。
- 本レポートでは、当ファンドの運用におけるポイントや期待される投資効果などについて、ご紹介いたします。

本資料の 内容

- ・ 運用におけるポイント
- ・ 投資対象資産(米国株式・金)とその特徴
- ・ 先物取引の活用により期待される「レバレッジ効果」
- ・ 米国株式に金を組み合わせることにより期待される「運用効率の向上と下値抑制効果」
- ・ NASDAQ100指数について、もっと詳しく

運用におけるポイント

- 当ファンドでは、下記のルールに基づいて運用を行ないます。値動きの特性が異なる米国株式と金を組み合わせることで、**分散効果**による**運用効率の向上**や**下値抑制効果**が期待されます。
- また、先物取引を積極的に活用し、純資産総額の200%相当額の投資を行なうことで、**レバレッジ効果(少額で大きな投資成果を得ること)**が期待できます。

当ファンドのルール

当ファンドでは、先物取引を活用し、米国株式と金(それぞれ純資産総額の100%相当額)へ純資産総額の200%相当額の投資を行ないます。



※米国株式では先物取引を一部活用し、金では金先物に投資をします。
※上記は、当ファンドの資産配分のイメージです。

投資対象資産(米国株式・金)とその特徴

- 当ファンドは、米国株式と金に分散投資を行いません。米国株式への投資では、NASDAQ100指数に連動する投資成果をめざし、金については金先物取引を通じて投資を行いません。

※米国株式には、マザーファンド*1ならびに米国の株価指数先物を通じて投資を行いません。

*1 マザーファンドは、NASDAQ100指数(税引後配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果をめざします。

米国株式(NASDAQ100指数)

ハイテク企業を中心に構成される、米国の代表的な株価指数の一つ

- 米国のナスダック市場に上場している企業のうち、金融業を除いた時価総額上位100社の株式で構成される、調整済時価総額加重型の株価指数です。
- 世界有数のハイテク企業やバイオテクノロジー企業など、最先端技術を有する企業を多く含みます。



金(金先物)

分散投資先として有効な資産

- 株式や債券などの主要資産と**値動きの特性が異なる傾向**があります。
- 「有事の金」と呼ばれ、**市場急変時に選好されやすい傾向**にあります。
- それ自体に価値がある実物資産であることから、**インフレに強い**と考えられます。

※上記は、主な特徴を列挙したものであり、すべてを網羅したものではありません。

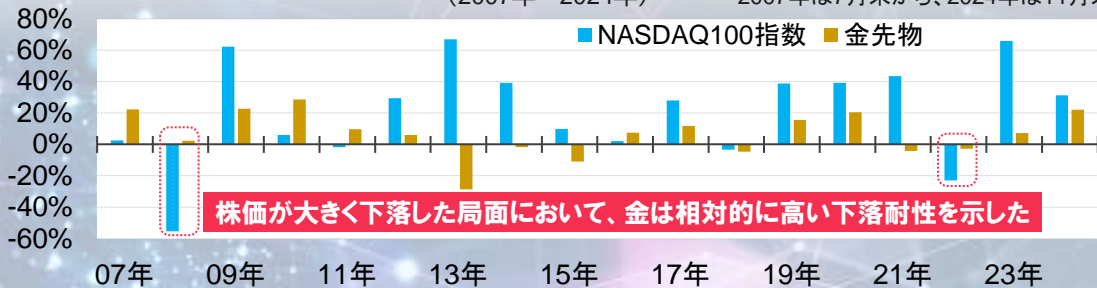
<NASDAQ100指数、金先物の推移>
(2007年7月末*2～2024年11月末、月次)

*2 株価指数のデータ取得の都合上、期間が最長となる月を起点としています。



<NASDAQ100指数、金先物の年間騰落率>

(2007年～2024年)*3 *3 2007年は7月末から、2024年は11月末まで



※ NASDAQ100指数: NASDAQ100指数(税引後配当込み、米ドルベース)の値を日興アセットマネジメントが円換算、金先物:ブルームバーグ金サブ指数(エクセスリターン*4ベース、米ドルベース) *4 先物取引のロールオーバーなどを考慮したものです。

※ 金先物は米ドルで決済される先物取引を活用しますが、買建額に対する為替変動の影響がないことから米ドルベースを掲載しています。なお、実際の金先物取引では、評価損益分や外貨建て証拠金については為替変動の影響を受けます。

※ 上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

先物取引の活用により期待される「レバレッジ効果」

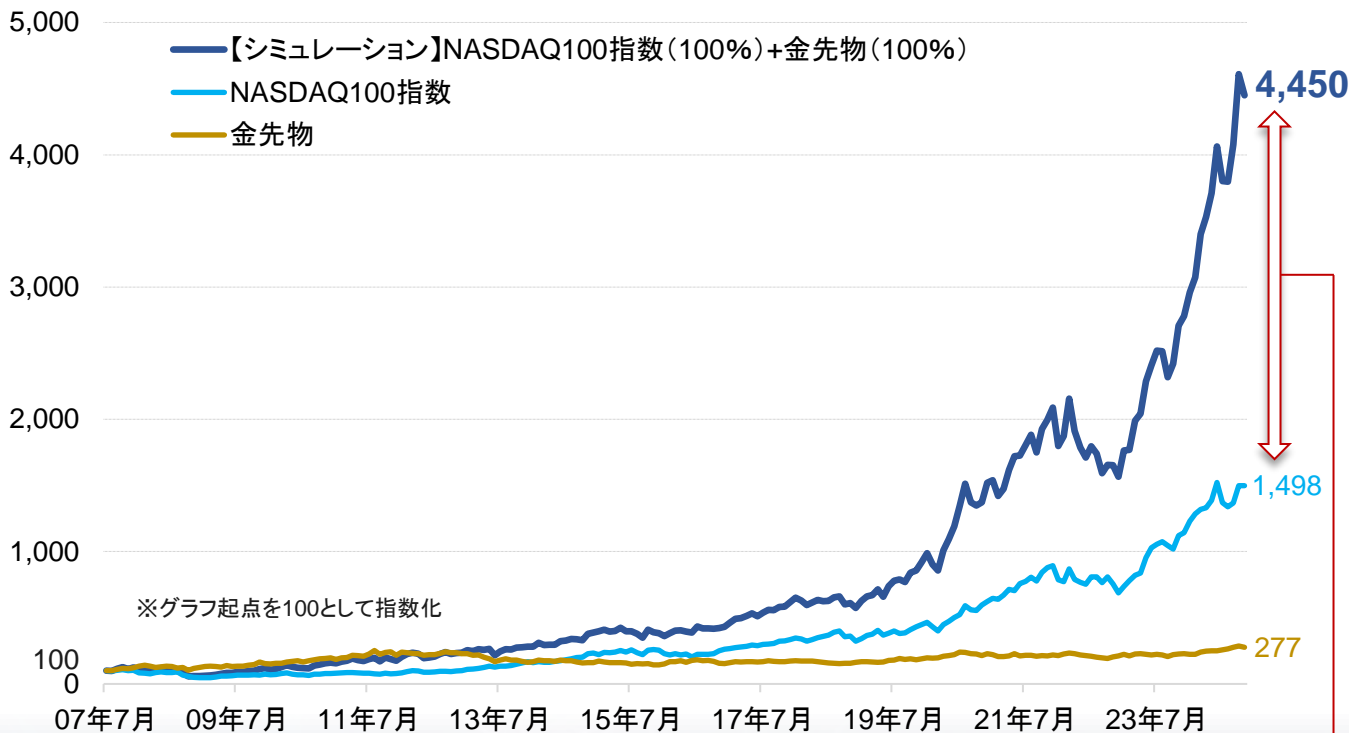
- 当ファンドでは、積極的に先物取引を活用しますが、先物取引を活用するメリットの一つに、レバレッジ効果が挙げられます。
- 当ファンドの運用ルールに基づいたシミュレーションでは、**米国株式と金との組み合わせによる分散効果に加え、先物取引の活用によるレバレッジ効果や、長期投資に伴う複利効果などが寄与し、堅調なパフォーマンスとなったことが確認できます。**

<各資産とシミュレーションの推移>

(2007年7月末*~2024年11月末、月次ベース)

*株価指数のデータ取得の都合上、期間が最長となる月を起点としています。

下記は過去のものおよびシミュレーションの結果であり、当ファンドの運用実績ではありません。



ポイント

先物取引の活用による**レバレッジ効果**や、**長期投資に伴う複利効果**なども寄与

※ NASDAQ100指数: NASDAQ100指数(税引後配当込み、米ドルベース)の値を日興アセットマネジメントが円換算、金先物:ブルームバーグ金サブ指数(エクセスリターンベース、米ドルベース)

※ 【シミュレーション】については、上記のNASDAQ100指数と金先物を100%:100%の割合で合成し、月次リバランス

※ 金先物は米ドルで決済される先物取引を活用しますが、買建額に対する為替変動の影響がないことから米ドルベースを掲載しています。なお、実際の金先物取引では、評価損益分や外貨建て証拠金については為替変動の影響を受けます。

※ 上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。

※ 上記は、過去の指数データをもとに算出したシミュレーションの結果であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。当ファンドの運用においては、売買コストや信託報酬、運用資産の規模、設定解約に伴う資金流入などによる影響が生じます。そのため、当ファンドの運用成果が、上記シミュレーションと同様のリターンを達成することを約束するものではありません。運用開始後の当ファンドの実際のパフォーマンスなどについては、開示資料をご覧ください。

※ 純資産総額の200%相当額の運用を行なうことなどから、当該シミュレーション期間中の値動き(リスク)が大きかった点には十分ご注意ください。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

米国株式に金を組み合わせることにより期待される「運用効率の向上と下値抑制効果」

- 米国株式に金を組み合わせることにより、運用効率の向上や下値抑制効果などが期待されます。当ファンドの運用ルールに基づいたシミュレーションでも、リターンの向上だけでなく、運用効率の向上も確認することができます。
- さらに、先物取引を活用し、**純資産総額の200%相当額(NASDAQ100指数と金にそれぞれ100%相当額ずつ)の投資をしているにもかかわらず、NASDAQ100指数に100%相当額投資した場合よりも最大ドロウダウン*1(DD)を抑制**できていることから、下落抑制効果も期待されます。

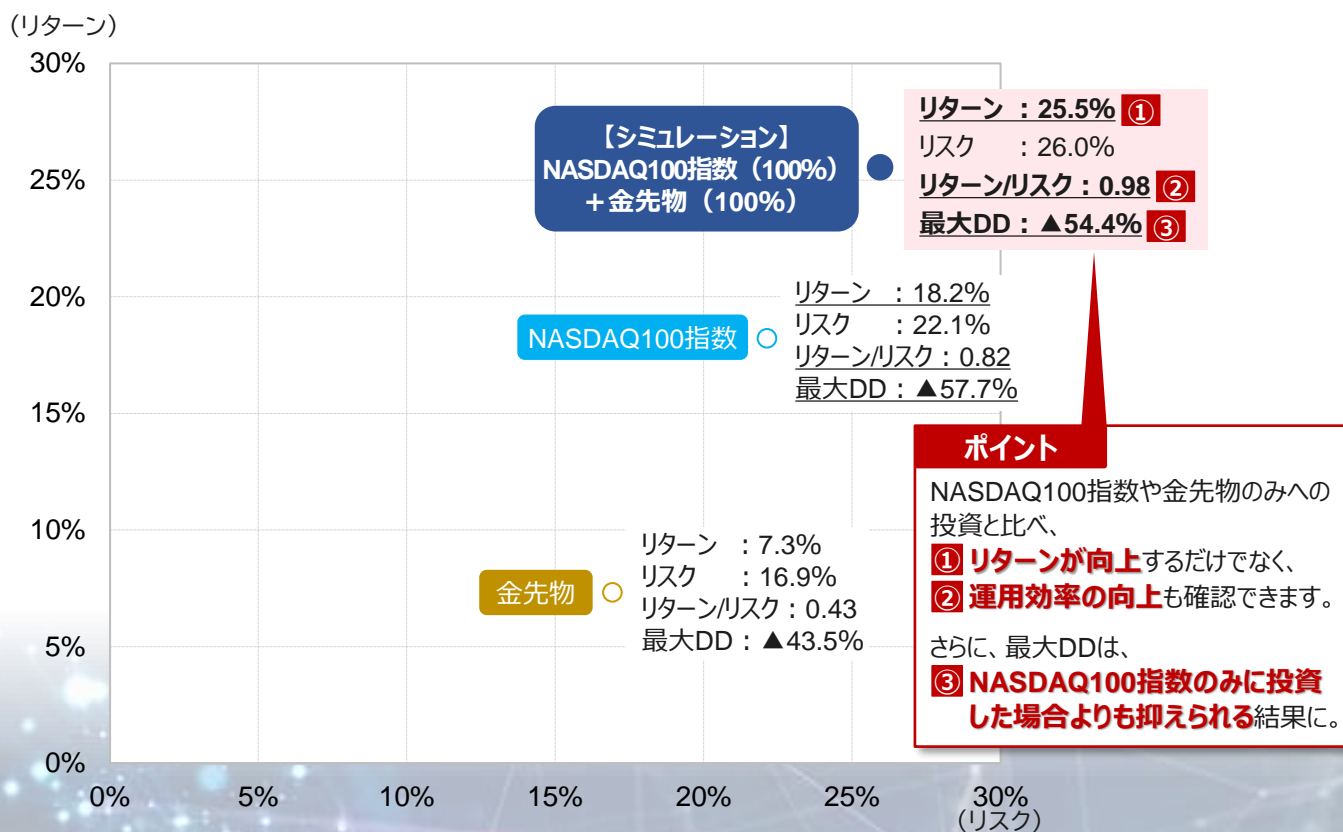
*1 高値から最も下落した期間の下落率（最も悪いタイミングで投資を行なった場合の下落率）

<各資産とシミュレーションの年率リスク・リターン>

(計算期間:2007年7月末*2~2024年11月末)

*2 株価指数のデータ取得の都合上、期間が最長となる月を起点としています。

下記は過去のものおよびシミュレーションの結果であり、当ファンドの運用実績ではありません。



※ 使用した指数や計算前提は前ページと同様です。

※ リターンは月次リターンの平均、リスクは月次リターンの標準偏差を、それぞれ年率換算

※ 上記は、過去の指数データをもとに算出したシミュレーションの結果であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。当ファンドの運用においては、売買コストや信託報酬、運用資産の規模、設定解約に伴う資金流出などによる影響が生じます。そのため、当ファンドの運用成果が、上記シミュレーションと同様のリターンを達成することを約束するものではありません。運用開始後の当ファンドの実際のパフォーマンスなどについては、開示資料などをご覧ください。

※ 純資産総額の200%相当額の運用を行なうことなどから、当該シミュレーション期間中の値動き(リスク)が大きかった点には十分ご注意ください。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

NASDAQ100指数について、もっと詳しく①



～米国の他の主要株価指数とは異なる特徴を備える～

- NASDAQ100指数は、時価総額の大きい銘柄で構成され、毎年12月に定期的な銘柄入れ替えが行なわれることから、その時々米国経済の成長をけん引する、そうそうたる企業が名を連ねてきました。
- 現在、同指数の構成上位銘柄には、世界的な巨大IT企業などが並んでいます。これらの企業は、**今後の社会を一変させ得る技術分野のトッププレイヤーとして、更なる成長が期待**されます。

<NASDAQ100指数の構成上位銘柄>
(2024年11月末時点)

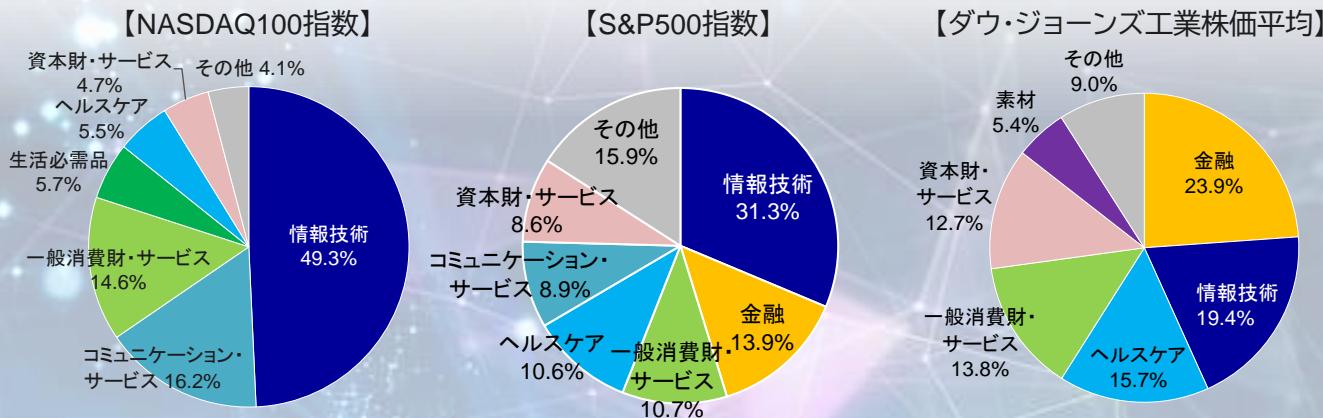
<米国の主要株価指数との比較>
(2024年11月末時点)

	銘柄名／業種	比率	銘柄名／業種	比率		NASDAQ100指数	S&P500指数	ダウ・ジョーンズ工業株価平均
1	アップル ／情報技術	8.8%	6 ブロードコム ／情報技術	4.7%	構成銘柄数*2	101銘柄	503銘柄	30銘柄
2	エヌビディア ／情報技術	8.2%	7 テスラ ／一般消費財・サービス	4.1%	対象	ナスダック市場 上場銘柄 (金融業を除く)	米国の金融商品 取引所上場銘柄	米国の金融商品 取引所上場銘柄 (運輸・公益事業を除く)
3	マイクロソフト ／情報技術	7.6%	8 コストコホールセール ／生活必需品	2.7%	算出方法	調整済 時価総額加重型	浮動株調整済 時価総額加重型	株価平均型
4	アマゾン・ドット・コム ／一般消費財・サービス	5.3%	9 アルファベット(クラスA)*1 ／コミュニケーション・サービス	2.4%	銘柄 選定の 主な ポイント	時価総額 上位100社、 毎年12月に 定期的な銘柄 入替を実施	時価総額や流動性、 セクターのバランス などを勘案して 500社を選定	企業の評判や 持続的な成長の 達成度合い、 投資家の関心の 高さなどを 勘案して選定
5	メタ・プラットフォームズ* ／コミュニケーション・サービス	4.9%	10 ネットフリックス ／コミュニケーション・サービス	2.4%				

*1 議決権が付与された株式。*2 1社で複数の銘柄が上場している場合があるため、構成銘柄数が選定された企業の数と同じになるとは限りません。
※ 記載の銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

- また、NASDAQ100指数は、**テクノロジー関連セクターの比率が相対的に高いほか、金融セクターが除外されている**などの特徴もあります。

<各株価指数のセクター比率>
(2024年11月末時点)



※ 比率は指数の時価総額比です。四捨五入などの関係で合計が100%とならない場合があります。
※ 業種はGICS(世界産業分類基準)のセクター分類を用いて分類しています。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

NASDAQ100指数について、もっと詳しく②



～中長期で相対的に高いパフォーマンス～

- NASDAQ100指数は、**米国の他の主要株価指数と比較して、中長期で相対的に高いパフォーマンス**を誇っています。

<米国の主な株価指数の推移>
(2007年7月末*～2024年11月末)

*データ取得の都合上、比較できる期間が最長となる月を起点としています。

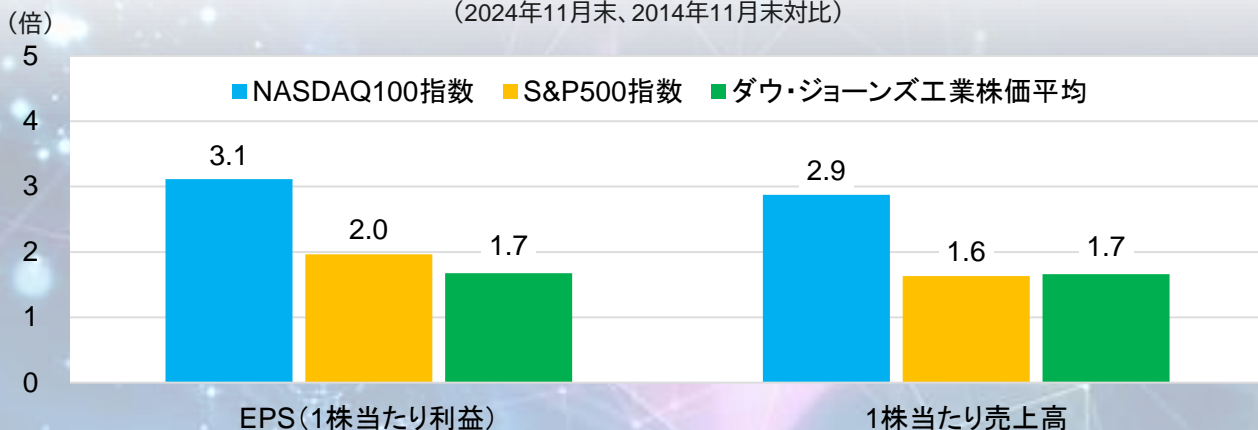


※ 各指数(税引後配当込み、米ドルベース)の値を日興アセットマネジメントが円換算
※ 上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。

～成長性の高い銘柄が相対的に多く含まれる傾向に～

- NASDAQ100指数では、定期的な銘柄入替により、時代の変化を反映した新たな成長銘柄の組入れが期待されます。
- また、将来の成長を重視した積極的な投資などにより赤字となることが多い新興企業についても、一定の要件を満たせば、指数の構成銘柄に採用される可能性があります。このような背景もあり、**同指数には成長性の高い銘柄が相対的に多く含まれている**と考えられます。

<指数別EPSおよび売上高の直近10年間での伸び>
(2024年11月末、2014年11月末対比)



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ファンドの特色

- 1** 米国株式および金に分散投資を行ない、収益の獲得をめざします。
- 2** 先物取引を積極的に活用し、信託財産の純資産総額の200%相当額の投資を行ないます。
- 3** 購入時手数料はかかりません。

基準価額変動リスクの大きいファンドですので、ご投資の際には慎重にご判断ください。
 ※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

指数の著作権等について

「NASDAQ100指数」

当ファンドは、Nasdaq, Inc. またはその関連会社（以下、Nasdaq, Inc. およびその関連会社を「ナスダック」と総称します。）によって、支援、推奨、販売または販売促進されるものではありません。ナスダックは、ファンドの合法性もしくは適合性について、または当ファンドに関する記述および開示の正確性もしくは妥当性について認定するものではありません。ナスダックは、当ファンドの保有者または公衆一般のいかなる者に対しても、一般的な証券投資または特に当ファンドへの投資についての妥当性や、NASDAQ-100 Index[®]の一般的な株式市況への追従可能性について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証も行ないません。ナスダックと日興アセットマネジメント株式会社との関係は、Nasdaq[®]およびNASDAQ-100 Index[®]の登録商標ならびにナスダックの一定の商号について使用を許諾すること、ならびに、日興アセットマネジメント株式会社または当ファンドとは無関係に、ナスダックが決定、構築および算出を行なうNASDAQ-100 Index[®]の使用を許諾することに限られます。ナスダックは、NASDAQ-100 Index[®]の決定、構築および計算に関し、日興アセットマネジメント株式会社または当ファンドの保有者の要望を考慮する義務を負いません。ナスダックは、当ファンドの発行に関してその時期、価格もしくはその数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算についての責任を負っておらず、また関与をしていません。ナスダックは、NASDAQ-100 Index[®]とそれに含まれるデータの正確性および中断されない算出を保証しません。ナスダックは、NASDAQ-100 Index[®]またはそれに含まれるデータの利用により、日興アセットマネジメント株式会社、当ファンドの保有者またはその他いかなる者もしくは組織に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行ないません。ナスダックは、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行なわず、かつNASDAQ-100 Index[®]またはそれに含まれるデータの利用に関する、特定の目的または利用のための市場商品性または適合性については、いかなる保証についても明示的に否認します。上記に限らず、いかなる場合においても、ナスダックは、いかなる逸失利益または特別、付随的、懲罰的、間接的もしくは派生的損害や損失について、たとえもし当該損害等の可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。

お申込みに際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式、株価指数先物取引および金先物取引にかかる権利を実質的な投資対象としますので、株式、株価指数先物取引および金先物取引にかかる権利の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化、金地金の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】

【デリバティブリスク】【レバレッジリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「Tracers NASDAQ100ゴールドプラス」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 当ファンドは、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第5条の規定により有価証券届出書を2024年12月25日に関東財務局長に提出しており、2025年1月10日よりその効力が発生します。なお、効力発生前に記載内容の訂正が行なわれる場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	<当初申込期間>1口当たり1円 <継続申込期間>購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入の申込期間	<当初申込期間>2025年1月10日から2025年1月23日まで <継続申込期間>2025年1月24日以降
信託期間	無期限(2025年1月24日設定)
決算日	毎年10月10日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がナスダック証券取引所の休業日、ニューヨーク商品取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	ありません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.2189%(税抜0.199%)
その他の 費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人


委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

【取扱い開始予定日:2025年1月10日(当初申込期間初日)】

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○		
株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○

(50音順、資料作成日現在)



とは…

「こんなの欲しかった」というアイデアを
ファンドの設計に取り入れ、
「インデックス(指数)」や「独自に定めたルール」などの
ルールに沿って運用(トレース)する、
日興アセットマネジメントのファンドシリーズです。

